(別記様式第３号)

　　（甲）

温 泉 動 力 装 置 許 可 申 請 書

年　　月　　日

石川県知事　　　　　　　　殿

 　　　　　　　　　　　　　　　住　所

 　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

法人にあっては、その名称

及び代表者氏名

（連絡責任者氏名 　 電話 　　　　　　 ）

　温泉のゆう出量を増加させるために動力を装置したいので、 温泉法第１１条第１項の規定により関係書類を添えて申請します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | 動力装置の目的 |  |  |
| ２ | 動力装置の場所 | 地　　　番 |  |  |
| 地　 　目 |  |  |
| 付近の状況 | 別図のとおり |  |
| ３ | 掘削許可年月日番号及び源泉名 | 許可年月日番　　　号 | 年　 月 　日第　 号 | 源泉名 |  |  |
| ４ | 源泉の現況 | 深　 　度 | 0 ～　 m |  ～ 　 m |  ～　 m |  ～ m |  |
| そう入管径 |  ㎜ |  ㎜ |  ㎜ |  ㎜ |  |
| 温度／成分 |  　℃／ | 測定日年月日 |  |
| ゆう出量 |  　 　　Ｌ/分 　　 □自噴 □動力 |
| 自然水位 | ± ｍ |
| ５ | 工事内容 | 動力 | 出　 力 |  　　　　　 kＷ・馬力 |  |
| 種　　類 |  |  |
| ポンプ | 種　　類 |  |  |
| 排出口径　 | 　　　㎜ | 揚湯量 |  Ｌ/分 |  |
| 揚湯能力 |  　～　　　Ｌ/分　 （ｍ３/分）　 | 揚　　程（圧力） |  　 ～　 　　ｍ (MPa） |  |
| 吸込口位置 | ＧＬ－　 ｍ |  |
| ６ | 揚湯試験結果 | □　別紙のとおり　□　別紙記載の理由により実施できない |  |
| ７ | 着手予定年月日 |  年　　月　　日 |  |
| ８ | 完了予定年月日 |  年　　月　　日 |  |

(備　考)

１「動力装置の目的」は、 ｢利用に必要な揚湯量を確保するため」等簡潔に記載し、別紙として詳細な温泉利用計画書を添付すること。

２「動力装置の場所」は、申請地の登記簿上の地番及び地目を記載すること。また、付近の状況については、動力の装置位置及び動力装置に係る源泉の地点を正確に記載した 縮尺 1,000分の1～3,000分の１程度の見取図を添付すること (動力装置に係る源泉の地点から半径 2,000メートル以内の地域に既存の源泉又は既に許可を受けている掘削予定地がある場合は、その地点及び申請地点との距離を明示すること) 。

３「源泉の現況」は、動力装置に係る源泉の状況を次により記載すること。

　(1) そう入管径は、内径を深度毎に記載すること。

　(2) 温度、ゆう出量及び自然水位は、本申請前１年以内の測定値を測定日とともに記載すること。

４「工事内容」は、次により記載すること。

　(1) 出力の単位は、キロワット又は馬力によることとし、該当する方を○で囲むこと。

　(2) 動力の種類は、電動機、内燃機関、蒸気機関等の名称を記載すること。

　(3) ポンプの種類は、渦巻ポンプ、タービンポンプ、ポリュートポンプ、水中ポンプ、深井戸ポンプ、ピストンポンプ、エアリフトポンプ等の名称を記載すること。

　(4) 揚湯量は、動力を装置した後、実際に揚湯する量を記載すること。

　(5) 揚湯能力及び揚程は、本申請の仕様で源泉の能力を考慮した当該動力装置の最大値及び最小値を記載すること。

５　揚湯試験は、石川県揚湯試験実施要領によることとし、当該要領に定める揚湯試験結果表を添付すること。当該揚湯試験が実施できない場合は、あらかじめ書面によりその理由及びこれに代わる揚湯試験実施方法について知事に申し出、承認を受けていること。

６　上記の他、この申請書には次の書類を添付すること。

　(1) 動力を装置しようとする場所及び当該動力装置に係る源泉の位置を明示した縮尺 25,000分の１の地形図 (動力装置に係る源泉の地点から半径2,000メートル以内の地域に既存の源泉又は既に許可を受けている掘削予定地がある場合は、その地点及び申請地点との距離を明示すること)

　(2) 申請者が次の事項に該当しないことを誓約した書面

　　ア　温泉法の規定による罰金以上の刑に処せられ、その執行の終了等から２年を経過していない。

　　イ　温泉法の違反等により、増掘又は動力装置の許可を取り消されてから２年を経過していない。

　　ウ　法人の場合、その役員が上記ア又はイのいずれかに該当している。

　(3) 動力装置仕上断面計画図 (源泉の現況、動力の装置位置等申請の内容を断面図で図示すること)

　(4) 申請に係る動力を選定した経緯、理由等をデータに基づき説明した動力選定理由書

　(5) 動力 (ポンプ) の規格及び性能を記載した書類（カタログ）

(6) 工事中の環境への配慮に関する事項を記載した書類（当該工事に起因する環境への影響が懸

　念される事項及びその対応について記載すること）

　(7) 動力装置に係る源泉の温泉分析書の写し

　(8) 定款又は寄附行為の写し (申請者が法人の場合)

　(9) 影響調査の対象とした既存源泉の所有者への協力依頼の状況について、説明の経緯及びその状況（調査への協力の有無等を含む）を取りまとめた書類

（乙）

既存源泉所有者等への協力依頼の状況について

説明の経緯及びその状況を取りまとめた書類

１　協力依頼の経緯

(1) 日時及び場所

(2) 申請者の説明員の氏名（法人の場合は、職名及び氏名）

(3) 既存源泉の対応者の氏名（法人の場合は、職名及び氏名）

２　協力依頼の状況

(1) 申請者から説明した依頼の概要

（影響調査の実施スケジュール、既存源泉の測定状況等）

(2) 影響調査の実施に必要な既存源泉の状況

 通常の揚湯量・水位・温度・成分及び揚湯時間、井戸の口径、掘削深度、その他必

 要な事項

３　協力依頼の結果

(1) 影響調査に対する既存源泉所有者からの協力の有無

 （協力が得られない場合はその理由）

(2) 質疑・応答

　 （既存源泉所有者からの質問・意見及びそれに対する回答を具体的に記載すること）

４　その他

（添付書類）

・協力依頼の際に配布した資料